

平成23年度 第5回CCC教育学グループ運営委員会 議事概要

I. 日 時：平成24年3月5日（月）11：00-13：00

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者：難波委員、竹熊委員、三尾委員

（事務局）井端事務局長 森下主幹 松本職員

IV. 検討事項

1. 本日の記録担当選出

2. 資料について、事務局森下主幹より説明があった。

(1)「参考1」について、新しいバージョンの作成を次年度以降予定していると説明があった。

(2)「参考3」について、大学改革へ新しい協議体の提案があったことが紹介された。

(4)「参考4」は、大学分科会では、シラバスがコースカタログになっており不十分であるという議論がなされていることが紹介された。

(5)「参考5」は、文部科学大臣が、大学改革にける教育のガバナンスを上げることも重要であるという意欲が示された事が紹介された。

(6)「資料④」について、協会事業の電子著作物相互利用について、委員を通じても活動を広めることが依頼された。

3. アンケート結果「資料③」について

(1) 教育学の教育改善モデル（中間まとめ案1）について

アンケート結果では、賛成15、反対0、どちらともいえない4件であり、大きな変更をするものでないことが確認された。個別意見のうち「課題解決力は3、4年生ではないか」については、本モデル案は、例示として初年次としたものであり、その年次を定めたものではないことを確認した。

(2) 教育学の教育改善モデル（中間まとめ案2）について。

アンケート結果では、反対はなく、変更は無しとすることが確認された。

事務局長より、案1、2について、今後、教員の教育力について新しい議論を開始する際、必要に応じて変更することがあることが示された。

(3) 教育学分野の学士力の到達目標3についての意見「“…構築できる”まで書いた方がいい」について。

・事務局長より、今後、テキストを作るときに必要ながあれば修正できることが示された。

・委員より、同目標の到達度③に、「意見を示す事ができる」とあるので、指摘の内容はすでに含んでいることが示された。

・結論：とりあえず、このままとし、テキスト作成時に、他分野との比較が必要があれば、加筆することも考えることとした。

4. モデルへの新項目「授業の点検・評価・改善」について

追加資料として、他分野のものが配布された（参考5）。

授業の実施学年だけでなく、その後についても評価を行うという方法を提案することが確認された。

(1) 「教育学の教育改善モデル（中間まとめ案1）」について

検討の結果、以下を案として作成した。

「当該授業の点検・評価・改善は、受講生による授業評価に加えて上級学年生・大学院生等のファシリテーターからの意見を聴取し、授業内容・運営方法について行う。当該授業終了後は、上位学年次の授業担当者と教育の重要性の視点に立った学びが持続されているか情報を共有し、他大学の教員や学生、社会人などの外部評価の結果を参考にカリキュラムを含めた見直しを行う。」

(2) 「教育学の教育改善モデル（中間まとめ案2）」について

検討の結果、以下を案として作成した。

「当該授業の点検・評価・改善は、受講生による授業評価に加えて上級学年生・大学院生等のファシリテーターからの意見を聴取し、授業内容・運営方法について行う。当該授業の実施前後に、関連領域と他の学問領域の授業担当者との間で、理論と実践の結びつきができていないか情報を共有し、カリキュラムを含めた見直しを行う。」

5. 次年度に向けて

教員の指導能力について、作成していきたい。

この部会では、モデル1、2について実施するために必要な教員の指導力について作成する。

その際、それ以外のところは、描かない。そこで、一般論として、教育学分野で授業を担当する大学教員に求められる学識について述べてほしい。

これらをA4用紙1枚程度にまとめる。5月開始で毎月実施。9月には原稿を作る。

V. 配付資料

参考1 大学教育への提言：ファカルティ・ディベロップメントとIT活用 2006年版、
社団法人 私立大学情報教育協会

参考2 学士課程教育の構築に向けて（答申）、中央教育審議会、平成20年12月24日

参考3 「大学改革へ協議体」、日本経済新聞（夕刊）、2011年11月22日

参考4 「シラバスの充実方策など討議」、全私学新聞、平成24年1月13日

参考5 文教ニュース、平成24年2月20日

参考6 授業の点検・評価・改善（参考）

資料① 教育学教育における学士力の考察

資料②-1 教育学の教育改善モデル（中間まとめ案1）

資料②-2 教育学の教育改善モデル（中間まとめ案2）

資料③ 教育学教育における教育改善モデルへのアンケート結果

資料④ 電子著作物相互利用事業へのご協力について（お願い）

追加資料 2012年度教育方法論シラバス（参考）